**第16回国立精神・神経医療研究センター神経内科短期臨床研修セミナー申込用紙**

後述の説明文をよく読んで記載してください．

|  |  |
| --- | --- |
| ﾌﾘｶﾞﾅ氏　名 |  |
| 生年月日（年齢） | 西暦 年　　月　　日（ 歳） |
| 参加形態 | 現地参加希望　　　　　　WEB参加希望 |
| 駐車券自家用車でいらっしゃる方には駐車券（1日100円）を配布いたします． | 希望する　　　　　　　　　　　希望しない |
| 住　所 |  |
| 勤 務 先 |  |
| 勤務先住所 |  |
| 勤務先電話番号 |  |
| 連絡先メールアドレス |  |
| 卒業大学/大学卒業年 | /　西暦 　年3月卒 |
| 研究所見学（1日目）※ご希望に添えない場合があることをご了承ください． | ①神経変性疾患　　②遺伝子疾患と筋疾患③神経画像希望の研究所の番号を入れてください．第1希望　　　　　　　　第2希望　　　　　第3希望　　　　　 |
| 電気生理検査実習※簡単な説明を後述していますので，ご覧になってから選択してください．ご希望に添えない場合があることをご了承ください． | ①上級者　②中級者　③初学者第1希望　　　　　　第2希望　　　　　　第3希望 |
| 電気生理検査習熟度※グループ振り分けの参考にします | 習熟度　　　（A-Eで記載してください）A. 一人で筋電図を実施できるB. 反復刺激検査やblink reflexが自分でできるC. 初歩的な神経伝導検査なら自分でできる（伝導速度，CMAP，SNAPを理解している）D. 神経伝導検査の見学はしたことはあり，原理も理解しているが自分一人ではできないE. 電気生理検査に関する知識・経験が全くない，あるいはほとんどない初心者である |
| 選択講義（2日目）※簡単な説明を後述していますので，ご覧になってから選択してください．ご希望に添えない場合があることをご了承ください． | ①初学者のための嚥下機能検査②ボツリヌス毒素治療のコツ③神経筋疾患における人工呼吸器療法④臨床研究のイロハ⑤Device aided therapy; DBSとLCIG希望する実習の番号を入れてください．第1希望　　　　　　第2希望　　　　　　第3希望　　　　第4希望　　　　　　第5希望　　　　 |
| このセミナーをどこで知りましたか | [ ] インターネット　　[ ] 知人の紹介　　[ ] 先輩・上司の勧め[ ] 職場のポスター[ ] その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 来年度以降の勤務先 | [ ] 決まっている　　[ ] 未定[ ] 来年度以降，国立精神・神経医療研究センターでの研修も考えている |
| センター内宿泊施設（有料）※数が少なく，全員の部屋はありません．希望者多数の場合，NCNPから先生方の勤務施設までの距離の順に利用していただきます． | [ ] 希望する　　　[ ] 利用を希望しない |

日程

2020年9月21日（月）　祝日（敬老の日）

9:50－10:00　オリエンテーション

10:00－10:15　NCNPの紹介，NCNPからの歓迎（水澤英洋先生）15分

10:15－11:00　座学①小脳失調症（水澤英洋先生）45分

　休憩10分

11:10－11:55　座学②不随意運動の診断と治療（坂本崇先生）45分

11:55－12:30　休憩と昼食35分

　移動10分

12:40－13:30　当センター研究所見学50分

1. 神経変性疾患
2. 遺伝子疾患と筋疾患
3. 神経画像

　移動と休憩15分

13:45－14:30　座学③神経病理（髙尾昌樹先生）

休憩10分

14:40－15:25　座学④てんかんと脳波（金澤恭子先生）

休憩と移動15分

15:40－16:50　病棟見学　4グループに分かれる（2北2南と3北4南の組み合わせ）

　A：2北→2南　2南→2北

　B：3北→4南　4南→3北

16:50－17:05　移動と休憩　15分

17:20－18:20　クリニカルカンファレンス　60分

2020年9月22日（火）　祝日（秋分の日）

 8:30－ 9:15　電気生理講義（岡本智子先生）45分

 9:25－10:15　電気生理実習（上級者：岡本智子先生，初心者～中堅：別記載参照）50分

　休憩10分

10:25－11:10　座学⑤認知症（プリオン病を含む）（塚本忠先生）

　休憩10分

11:20－12:05　座学⑥筋疾患（大矢寧先生）

12:05－12:40　休憩と昼食

12:05－12:40　レジデントの1週間，当院での研修の紹介（小田真司先生）

12:40－13:25　座学⑦PDと類縁疾患（弓削田晃弘先生）

　休憩と移動15分

13:40－14:25　選択講義

1. 初学者のための嚥下機能検査（山本敏之先生）
2. ボツリヌス毒素治療のコツ（坂本崇先生）
3. 神経筋疾患における人工呼吸器療法（森まどか先生）
4. 臨床研究（中村治雅先生）
5. Device aided therapy; DBSとLCIG（齋藤先生）

移動と休憩15分

14:40－15:25　座学⑨MS/NMO（山村隆先生）45分

　休憩10分

15:35－16:35　座学⑩神経遺伝学（高橋祐二先生）60分

16:35－16:50　休憩，アンケート

16:50－17:00　終了証書授与

青地は現地参加者のみが対象となります．

応募について

* 本セミナーは「脳神経内科学をもっと深く学びたい・臨床と研究の最前線に触れたい」と思っていらっしゃる若手医師の皆さんを対象としています．
* 申し込み方法は，申込用紙に記入し，ワード形式にてメールに添付し，ymukai@ncnp.go.jpまで送ってください（CCで森裕子部長秘書 moriyuko@ncnp.go.jp にも送っていただけますと助かります）．3日以内に返事をいたします．もし返事が届かない場合は，当施設のインターネットセキュリティーの干渉で当方へメールが届かない，迷惑メール認定されているなどの可能性があります．電話にてご確認ください（平日日中の代表連絡番号042-341-2711）．
* 募集人数は現地参加10-15名程度，WEB参加30名までです．締め切りは9月6日（日）です．定員に達した時点でそれぞれ募集終了となります．短時間に定員を大幅に超える応募があった場合は，締め切り前に申込受付を終了し，抽選を行います．
* 現地参加者の受講料は10,000円，当日現地で現金でのお支払いをお願いします．
* WEB参加者の受講料は8,000円，セミナー後日の振り込みをお願いします．
* 現地参加希望者のキャンセルの場合は，他のキャンセル待ちの希望者に参加していただきたいと思いますので，早めの連絡をお願いします．
* 申込用紙は最初の2枚だけでかまいません．
* 研究所見学，選択実習は基本的に先着順となります．電気生理実習は経験と希望を考慮して調整します．いずれも希望通りにならない可能性があることはご理解お願いします．

座学「てんかんと脳波」について

実際の脳波を提示しながら，脳波判読について学びます．実例の解釈・診断が中心となるので，脳波に関する知識が全くないと理解できないと思われます．自信のない方は，簡単な医学書で事前予習をお願いします．お勧めは「飛松　省三. 脳波判読ナビ. 南山堂，東京，2016」

選択講義について

1. 初学者のための嚥下機能検査：嚥下機能評価の方法について概説します．嚥下造影検査の実施方法とその評価方法について学びます．
2. ボツリヌス毒素治療のコツ：どのような症状に対し，どこへどれだけ投与すればよいか，具体的な使用法について学びます．
3. 神経筋疾患における人工呼吸器療法：救急現場の人工呼吸器管理は異なる，神経筋疾患患者で長期にわたる人工呼吸器管理について説明します．
4. 臨床研究のイロハ：臨床研究に興味があるけれども，どのように手を付けたらよいかわからない先生が参加するとよいでしょう．臨床研究のテーマの設定から研究計画作成までについて学びます．
5. Device aided therapy; DBSとLCIG：深部脳刺激療法（DBS）やレボドパ／カルビドパ水和物配合経腸用液（LCIG，商品名デュオドーパ🄬）の適応の有無の判断，調整の方法について学びます．

電気生理実習について

上級者：実際の患者に検査を行いつつ，針筋電図検査結果の手技や解釈について学びます．

中級者：一般的な神経伝導検査については知識・経験がある先生方が対象です．反復刺激試験やblink reflexなどについて学びます．

初学者：初歩的な神経伝導検査の手技，波形を綺麗に出すためのコツ，トラブルシューティングなどについて学びます．

申し込み・問い合わせ・キャンセルの連絡等

国立精神・神経医療研究センター病院神経内科　向井洋平　ymukai@ncnp.go.jp　まで

CCで森裕子部長秘書　moriyuko@ncnp.go.jp　にもメールを送ってください．